

平成 27 年 8 月 20 日

鹿児島大学病院 放射線科で

肝臓の造影 MRI 検査を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 STAR-VIBE 法を用いた ^{ガドリニウム イーオービー ティーティーピーエー} G d - E O B - D T P A 造影肝細胞造影相の有用性（後ろ向き観察研究）

【研究機関】 鹿児島大学病院 放射線診療センター 放射線科

【研究責任者】 鹿児島大学病院 放射線部
准教授 福倉 良彦

【研究の目的】

肝臓の造影 MRI 検査において、造影剤が投与されてから約 20 分後に撮像される「肝細胞造影相」という画像があります。この画像は肝腫瘍の診断や肝機能の評価に有用とされています。従来この撮像は息止めによって行われるのが一般的でしたが、高齢者や小児、重症患者さんなど息止めが困難な方では、画質が低下し診断が困難となってしまいます。今回、息止めをしない自由呼吸下でも動きに強い新しい撮像（STAR-VIBE法）を行い、有用性を明らかにする事を目的としています。尚、平成 27 年 4 月より肝臓の造影 MRI 検査

においては、従来の息止めでの撮像（息止め VIBE 法）と息止めをしない撮像（自由呼吸下 STAR-VIBE 法）を全例に対して行っておりますが、通常の保険診療の範囲内で実施しています。

【研究の方法】

肝臓精査目的の Gd-EOB-DTPA 造影 MRI 検査で通常撮像される撮像画像（息止め VIBE 法）と STAR-VIBE 法撮像画像（自然呼吸下 VIBE 法）において、肝臓の信号とアーチファクトを評価し比較します。本研究の総研究期間は 5 年間（平成 32 年 6 月 30 日まで）を予定しております。

●対象となる患者さん

平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日までに鹿児島大学医学部・歯学部附属病院放射線診療センターにて、肝臓造影 MRI 検査が施行された患者さんです。

●診療録（カルテ）から利用する情報

ガドリニウム イーオービー ディーティーピーエー
G d - E O B - D T P A（肝細胞特異性造影剤：ガドキシト酸ナトリウム）を用いた造影 MRI 検査の肝細胞造影相における息どめ撮像画像と自由呼吸下撮像画像（スターハイフSTAR-VIBE法）を用いて、視覚的および定量的に自由呼吸下撮像法の有用性を検討します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学放射線診断治療学の研究費で実施します。
企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 放射線部

准教授 福倉 良彦

電話 099-275-5417 FAX 099-265-1106